

世界の警察官に戻る Trump のアメリカと日本の役割 担当石田 2025 年 10 月 25 日

「世界の警察官に戻れ」は主の言葉。中東和平工作のきっかけはネタニエフにカタル謝罪を強いた Trump の働き。米国は Israel に支配されている論は当たらない。「Trump は DS に寝返った」とか、現実直視のミア・シャイマー教授の「中東問題の悲観論」などは主の願いとは違う。Charlie Kirk 後に新しい潮流が生まれている。参考：トランプは中東を救えるかミア・シャイマーの現実主義の視点 13:40~47:20 及川氏解説。参政党支持論の盲点：江戸時代回帰ノスタルジ運動では日本の発展は期待できない。エル・カンターレ文明建設の意識が不在。「国家論」が古い。

トス神の霊言（まで、「北米を統べる神の本心」2019 年 10 月 5 日カナダ講演前日の収録内容。）:

地球温暖化問題は、自浄作用が働いてくるようになっている、大きな問題とはならない。CO2 は植物の餌、増加すれば、植物が繁茂し、新しい農業などの可能性が出てくる。CO2 が増え雨量の増加で、砂漠が緑地化可能。グレタ嬢は科学的に間違い、無神論科学の敗北。

習政権が倒れ、議会制民主主義に移行する。共産主義体制は経済的発展が唯一の担保。監視カメラ体制はカメラ破壊運動へ、AI 支配社会への拒絶。支配階級の秘密情報が暴露。

LGBT 問題は世界各地で法制化されるが、神の怒りが違う形で現象化するはずである。

人間を奴隷にする全体主義も、神を鎖で縛るような『思い上がり』の姿勢にも罰が下る。

イスラムは近代化する必用がある。ホメイニ革命の反革命か？外科的手術（戦争）発生かも。

信仰する神の神格は別にして、イスラエ尔的なもの（民主的）が広がるのは悪くはない。ムハンマドの時代は肝要で平和な宗教だった。Trump が十字軍的意識を持っているのは仕方ない。

イスラエルがやり過ぎだが、ネタニエフはいずれ追い出される戦争終結で政治生命は終わり。

韓国・北朝鮮は中国に大変動が起これば、目覚める。近年中に片付ける（高市政権との関連？）

日本の使命：地球神を越えた存在の地上降臨を世界に伝える使命がある。宗教問題調和士、民族問題調和士、国際紛争調和士等の育成、派遣を在家組織として構築していく必要がある。

民族紛争、宗教間紛争は、転生輪廻の思想なくして解決しない。生まれ変わりがあって魂の修行をしているという宗教的本質を教えない限り、人生の意味も把握できない。HS の出番である。

日本が世界の大国になる**条件**「鎖国型一國平和主義」から抜け出す、**条件**「国際主義」を発信し。世界を善導せよ、**条件**「自由の大国」となれ。日本では、高市政権の樹立で、公明党が政権離脱したこと等大きな意義がある。Trump、Putin、と一緒に、自由、民主、信仰を訴える絶好のチャンスを迎えている。幸福の科学は全宗教等の一元化運動として、再起動するべき。

神戸に於ける主の伝説的説法：神戸は人生観を転換させる法が説かれた、特別な場所である。

「私は千年、二千年の未来に向けて、人々を幸福に導く源流でありたい。そのために愛の原点であり、悟りの出発点であり、そのための勇気の原動力でありたい。」「貴方がたに会うまでに三十年かかりましたよ」「久しぶりだね、ついに会うことができたね」「私たちが今住んでいるところ（宇宙）は、もう一段大きな宇宙から見たときには、大宇宙のちょうど『右目』に当るのです。

規律を重んじる印度仏陀サンガー（和合僧破壊思考）からギリシャのヘルメス型自由闊達、しかし、各自が「無欲の大欲」心情とする教壇に脱皮しなければならないのではないだろうか。

参考資料：関東で起きている在家活動家グループの「語り掛け」街宣活動を、採用したい。